

窓口に、軟骨伝導イヤホンを

役場の窓口に導入していきたい

問

高齢の方で難聴であるにも関わらず、自分では聞こえているつもりの方が多い。窓口などで聞き漏らしがあり、社会生活上に支障が生じる場合がある。対策として、窓口に「軟骨伝導イヤホン」の設置を。

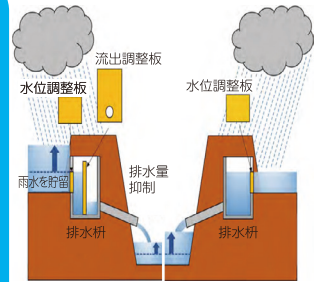
答

軟骨伝導イヤホンは、耳周辺の軟骨を振動させて音を伝えるイヤホンで、音が大きく明瞭でいて音の漏れも少ない。

話し手側の声を聞き取りやすく衛生的で、意思疎通を図る手段として効果が期待されるため、窓口に導入していきたい。



影岡 俊範
議員



「田んぼダム」を実施している水田の排水イメージ

農林水産省
「田んぼダム」の手引き

激甚化する豪雨対策に「田んぼダム」の設置を

実効性のある防災・減災対策とするには課題が

問

地域の防災・減災対策の「田んぼダム」事業に取り組む考えは。

答

町内の水田は、ほとんどがコンクリート畦畔となっており、かさ上げするのは、農業用機械の運転作業などに影響が生じることから現実的ではない。

先進地事例を参考に効果が見込まれるエリアを検討した上で、関係する土地改良区や農家の方と実施について協議の場を設けていきたい。

雨により、最近急激に水かさが増しているが、田んぼダムによってそれも軽減できるのではないかと。ぜひ設置の推進を。

保育所の土曜日の開所時間延長の考えは

今後、延長に取り組んでいく

問

令和6年4月1日時点、県内の待機児童数は0人。しかし、各地で潜在的待機児童は存在しているが、本町は。

答

潜在的待機児童数は6人で、0歳児1人、1歳児4人、2歳児1人。理由は、特定の施設のみを希望しているケースが5人、育休延長のために施設への入所が保留されることを希望するケースが1人。

問

来年度から認定こども園の土曜日の開所時間は、18時30分まで。町立保育所は12時30分まで。応募の関係で来年度からは無理



だが、将来的に町立保育所も土曜日は18時30分までに延長する考え（4園すべてではなく、まずは1園だけでも）は。

答

現時点では、必要数の保育士の確保が難しいため、土曜日の開所時間を延長するのは現実的には難しい。

一方で、保護者からのニーズがあることは認識している。

今後、応募状況や利用状況を見極めたうえで、延長する保育所の数も含め検討する。必要な体制が整った段階で、1園からでも土曜日の開所時間の延長に取り組んでいく。



曾我部 秀司
議員



保育士確保がまず優先である。しかし、土曜日の午後も保育を希望する人数が増える可能性は非常に大きい。早急な対応を。